

豊橋

県立西高校で企業外部講師授業

テーマに「企業の方から豊橋・東三河を学ぼう」生徒ら地域の魅力を知る

豊橋市牟呂町の県立豊橋西高校では16日と19日、東三河地方の企業16社による「2020年度企業外部講師授業」を実施した。総合学科1年の「産業社会と人間」の授業の一環で、「企業の方から豊橋・東三河を学ぼう」をテーマに行われた。1年生200人は8クラスに分かれて受講。2日間で1人4企業について学んだ。

(吉富恵子)

16日は三菱ケミカル愛知事業所、ユタカコーポレーション、日本ガスコム、医療法人積善会、豊橋

鉄道、小林つくた煮、

神野建設、アイメデ

イカルシステム、19

日はサンヨネ、日本

トレクス、トピー工

業、ワルツ、トピー

海運、宮川工機、オ

ーテック、丸金商会

が、それぞれ自社の

成り立ちや取り組み

について、パワーポ

イントを使って伝え

た。生徒たちはワー

クシートにメモを取りながら、企業と地域の関わりについて学んだ。

総合学科推進部主

任の柳沢雄大教諭

は、「この地域にどん

な企業があるか、興

味をもっともらつこ

とに重点を置いた」

とし、「地域に密着

した企業の魅力を知

るとともに、視野を

広げ、地域に積極的

に関わる人間づく

りにつながるきつか

けになれば」と話し



企業外部講師による授業を聴く生徒たち（県立豊橋西高校で）